



琉球の文化史・自然史・ゲノムは研究途上

700万年前：アフリカでHomo sapiens誕生 20万年前～各地へ拡散
旧石器時代(3.8～1.6万年前)：琉球にヒトが居住

3.5万年前～：丸木舟で黒潮を超え大陸から琉球へヒトが到来？

柳田国男が『海上の道』で述べたような偶然の漂着ではない

2.1万年前(最終氷期最盛期)大陸～台湾～琉球は陸続き

動物や港川人が陸橋を渡って沖縄に定住⇒現代日本人に繋がる？

グスク時代(11～15世紀)：九州から内地人移住⇒言語と農耕が伝来？

琉球王国(1429～1879)：南西諸島(奄美・沖縄諸島・宮古・八重山)が版図
薩摩藩が奄美を奪うが今も奄美と沖縄の共通点が多い

琉球文化：各地の文化が混ざったチャンプルー文化

グスク時代：各地の有力按司(あじ)が中国などと交易

琉球王国：日本・中国・朝鮮・東南アジアと交易盛ん

食・酒・建築・工芸・芸能・信仰などで独自の文化



シール「万国津梁の鐘」
大交易時代の象徴



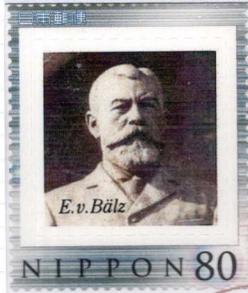
万国津梁館
サミットの晩餐会では
沖縄の食や酒を提供



EISA
元は仏教の盆踊
別方向に大進歩



組踊：冊封使饗応に創作 能・歌舞伎・中国演劇の影響
↑『娘道成寺』にインスパイアされた『執心鐘入』↑



民具：農耕・漁労にも独自性

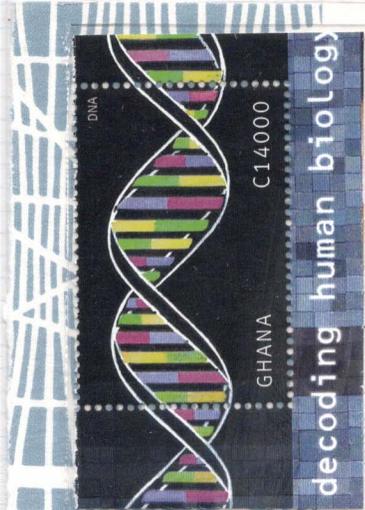
二重構造説(1991年)：

日本列島は大和・アイヌ・琉球の3族で構成
まず列島各地に縄文人(東南アジア系)が居住
後に大陸から弥生人(北方アジア系)が渡来・混血
周辺にある琉球や北海道では弥生人の影響少
弥生人は水稲も伝える

同じ理由で琉球や北海道は農耕が遅れた

* 1911年：←ベルツが「アイヌ・沖縄同系論」を提唱

* 2010年代：↓ゲノム解析で凡そ裏付けられた



海上の道



柳田国男



国営沖縄記念公園
海洋文化館
OCEANIC CULTURE PAVILION



マーシャル諸島↑クリスマス

小枝・小石・貝殻を組合せた海図
小さな船だが大きな知恵と勇気で
古代から人々は大海原を往来した

海洋文化館：

海洋博の施設が存続
オセアニア文化の展示で古代の航海技術を知り
プラネタリウムの番組で航海の情景を実感できる

入館券 大人 ¥190
ADULT (消費税分を含む)
No. 232322

『海上の道』：ヤシの木の漂着から生まれた仮説
遙かな昔 日本人の祖先は稲作技術を携えて南方から
『海上の道』を北上、琉球諸島を伝って渡来した...



琉球の信仰のキーワード

琉球の信仰は様々な要素が混交・重層 地域差や歴史の変遷もあり複雑

琉球王国：国王以下の統治組織と間得大君が統括する神女組織

(国や地域を守るノロ達)が並立した祭政一致体制

自然崇拜：御嶽(斎場御嶽・久高島等)、御願(ウガン)、ヒヌカン(火の神)

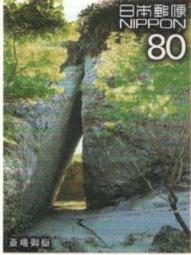
：ニライカナイ、アマミキヨ、海神(ウンジャミ)、キムマモン

先祖崇拜：トートーメ、清明節、門中、旧正月、十六日、盆とエイサー

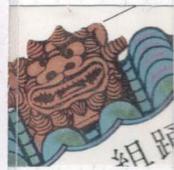
祭・儀式：ハーリー、綱引、獅子舞、旗頭⇒豊穰・繁栄・安全を祈願

その他：マブイ、ユタ、シーサー、石敢當、天女、キジムナー等々

波上宮(なみのうえぐう)	清明節(しーみー)	水字貝(スイジガイ)	石敢當(いしがんと)
昔ニライカナイに豊穰を	二十四節気の1つ	魔除けとして門や	T字路の突き当りに
祈った崖上に建つ神社	墓前で親族が宴会	玄関に吊り下げる	置く魔除けの石標



↑斎場御嶽 ↑久高島の祭祀「イサイホウ」
首里城や斎場御嶽から久高島が望める 久高島に
アマミキヨが降り立ち国土と人を創り五穀をもたらした



↑石獅子：城や集落を守護
民家の屋根シーサーは明治以降
壺屋焼のシーサー→

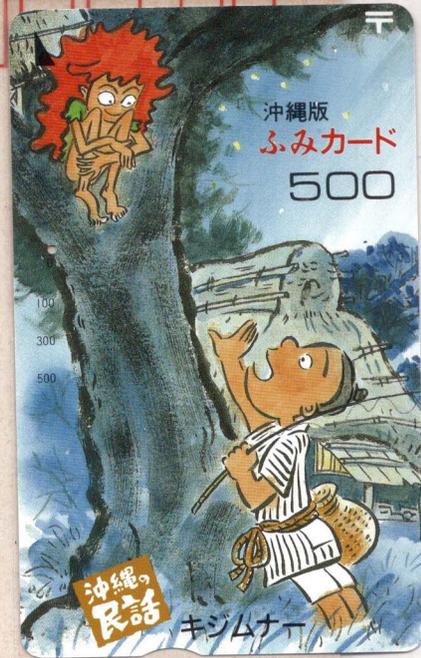


↑ミルク(弥勒) 黒島の豊年祭
ニライカナイからの来訪神
五穀豊穰の世をもたらすといふ
=弥勒世界報(みるくゆがふ)

↑エイサー 先祖を送る
旧盆最終日の踊り
内地の念仏踊が琉球に
伝わり大きく変化した



便 は が き



ニライカナイ——南海の楽園を求めて。

沖縄の島々、
「石垣、宮古、久米島、
与論…」



エコ葉書 ニライカナイ：遙か東にある神々の世界 豊穰や生命の源
トレカ 琉神マブヤー：沖縄の平和を守るためニライカナイから来た
ふみカード キジムナー：ガジュマルの古木にすむ精霊 子供の姿



郵便はがき



□□□□□□□□



多雨だが水には苦勞…集落の始まりは湧水
亜熱帯の沖縄県は年降水量が2000mm余もあるが
大きな河川や池が少なく用水に恵まれない
古代より水の得られる場所に集落を形成
湧水や井戸はカー(川)やヒージャー(樋川)等と
呼ばれ県下各地に大小1000ヶ所ほど残る
飲食・洗濯・儀式・灌漑・畜産など多用途
御嶽(うたき:神聖な場所)として崇敬も
各地の多彩な祭は豊穰祈願に雨乞も兼ねた

←瑞泉の龍樋
首里城の湧水
王族が利用した

沖縄の水道整備は遅れていた
1887年(明治20)横浜に日本初の近代水道
1933年(昭和8)ようやく那覇市に近代水道
1945年(昭和20)沖縄戦で壊滅
1951年:各地で水道の整備がはじまる
1972年:復帰後も毎年のように給水制限
貯水タンクが民家やビルの必需品
1974年:福地ダム完成 以後続々と建設
現在:本島に14のダム 国頭・中頭地域が主

郵便はがき



□□□□□□□□



郵便はがき



□□□□□□□□



↑金武大川(きん・うつかがー)
嘉手志川(かてしがー)↗



←いちゃー踊:雨乞が起源→

小禄金城郵便局



局長 保険募集品質改善責任者

上原 奈々

〒901-0155 那覇市金城5-2-8

TEL:098-857-2922 FAX:098-857-9433
E-MAIL:nana.uehara_ab@jp-post.jp
panpost.jp/



日本郵便



↑小禄金城局の風景印
赤嶺配水池(赤白タンク)
那覇水道局の施設
デザインは局長の上原さん
名刺にも印刷してる!



□□□□□□□□

↑宜野座局の風景印 漢那ダム(1993年竣工)
治水・上水道・灌漑用の多目的ダム



鳴き声以外は全て食べる…沖縄の豚食文化

- 15世紀：福州から黒豚(アグー)が伝来 主に冊封使の饗応用
- 17世紀：甘藷栽培が普及→食糧の安定化 不要部は豚の餌に
- 18世紀：王府が養豚奨励 庶民も正月や盆に豚を食べる
- 19世紀：沖縄県は豚の飼育頭数全国一 パークシャー種導入
- 沖縄戦：人・家屋・家畜の多くを失う 養豚も壊滅(14万→1割)
- 1948年：ハワイの沖縄移民が豚500頭を寄贈

あますところなく食べられる豚

ミミガー(耳皮)	沖縄そば	ラフテーと中身汁	宮廷料理にも
チラガー(顔皮)も	出汁は豚骨・鰹節	ラフテーは沖縄風角煮	ゴボウ巻き
コリコリで美味	具材は三枚肉・ソーキ	中身とは胃・腸など	ミヌダルなど



ポークランチョンミート

- 1937年 ホームル社がSPAM®を開発
- 欧州・アジアの米軍兵糧に採用
- 1945年 沖縄戦 収容所でSPAMも提供
- 解放後も住民は私下品SPAMを食す
- 1983年 ハワイでSPAMむすび誕生
- 全ハワイ さらに沖縄へ普及
- 2024年 KITTE大阪開業 ポーたまも出店

↑ 中村家住宅

沖縄の民家にはフールがあった (トイレ兼用の豚小屋)

人糞や甘藷の葉・茎などが豚の餌となる 傍らにユウナが植えられ その葉で尻を拭く 豪農だった中村家には芸術的な遺構が現存



風景印(中城局)とハワイ移住70年記念切手: 1899年ハワイに第1回移民団(計27名) 沖縄移民の原点

1948年 戦後の窮状を知り ハワイで成功した沖縄移民らが豚を寄贈

1950年 軍政府が観光を復興策に…ハワイから初の観光団 豚・山羊・衣類・学用品などを寄贈

この訪問に合わせて琉球郵政が初めて特印(観光団歓迎)と風景印(計5局)を使用



昆布の道... 昆布が採れないのに消費量は首位だった

江戸中期～明治：蝦夷の昆布を北前船で上方へ運搬

西廻り航路：松前⇒富山⇒下関⇒大坂

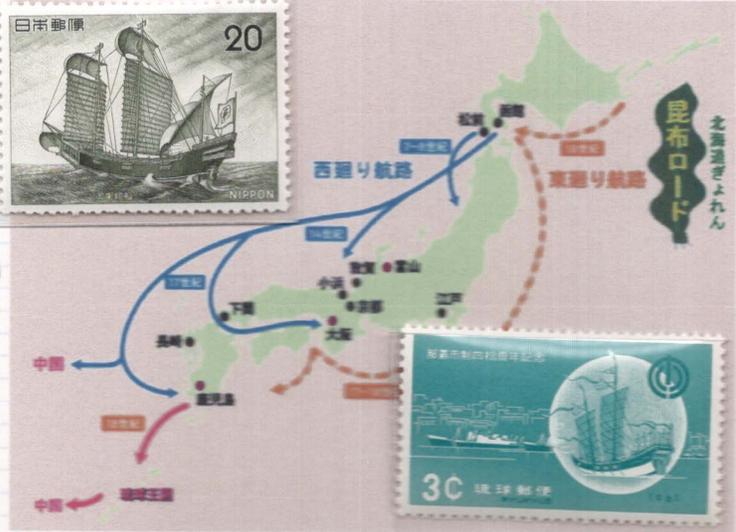
中国では昆布は薬(浮腫など)・高級食材：

薩摩藩は琉球を介して唐物貿易⇒藩財政↑⇒倒幕の原動力

中国の生薬原料を得るため富山薬種商が仲介(昆布廻船)

貿易中継地の那覇に昆布文化が根付く(二級品などが市中へ)

那覇市の昆布消費は日本一⇒平成以降減少⇒現在は平均並



↑北前船 西廻り航路 冊封使船 ↓中国⇄琉球を往来

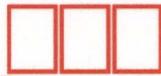
郵便はがき



郵便はがき



郵便はがき



郵便はがき

年賀



風景印：音調津(おしらべつ)局：コブ

富山局：売薬さん 歴史の裏表で活躍

沖繩大道(だいどう)局：帆船と上り口説

馬艦(まーらん)船が薩摩⇄那覇を往来

上り口説(ぬふいどっち)・下り口説は

この航海の情景を再現した琉球舞踊



昆布の利用：宮廷料理に昆布巻やテビチ(昆布入)があった

具材：煮物・炒め物として昆布自体を食べる 中国と同様

クープイリチー：クープ(昆布)のイリチー(炒め煮)

出汁での利用は少ない 例：沖繩入は豚骨+鯉節が基本

鍋・おでん：汁物に入れる昆布は出汁ではなく具材

琉球年賀葉書1961：旧正月の七ツカ(火の神への御供え

アカガミの上のみかん(橙)・餅・タンテックなどを置く

アカガミ(赤紙)/ウカリー(御喜利)・赤・黄・白の紙 3枚重ね

タンテック(炭と昆布)：昆布を巻いた炭 昔は各家で作った

現在は旧正月前に市場などで販売 1個200円×3個



西原局風景印 製糖工場と慰霊碑
1990年代本島での栽培が急減
町のシンボル2本煙突の製糖工場
も1998年閉鎖 跡地は商業施設に

小浜島局風景印 甘蔗と小浜節
沖縄県産甘蔗の5%が黒糖原料
多良間、西表、波照間、小浜島
など8つの離島でのみ黒糖生産↓



沖縄戦 1945年4月1日~6月23日
民間人・日米の軍人ら20万が死去

ざわわ ざわわ ざわわ…サトウキビは基幹作物
15世紀頃：サトウキビ(甘蔗)伝来 原産地は東南アジア
1609年：琉球侵攻 薩摩への貢納が財政圧迫⇒産業を模索
1623年：福州で製糖法を学ぶ 黒糖が重要産品に成長
戦後：食糧不足 軍政府の指示で甘蔗を米・麦・甘藷に転換
1960年代：サトウキビブーム 一転 粗糖自由化などで縮小
1972年：復帰 産業振興で生産者値引上げ⇒ブーム再来
現在も農家の6割が栽培 年間80万t 大半は粗糖原料

④0 西原郵便局

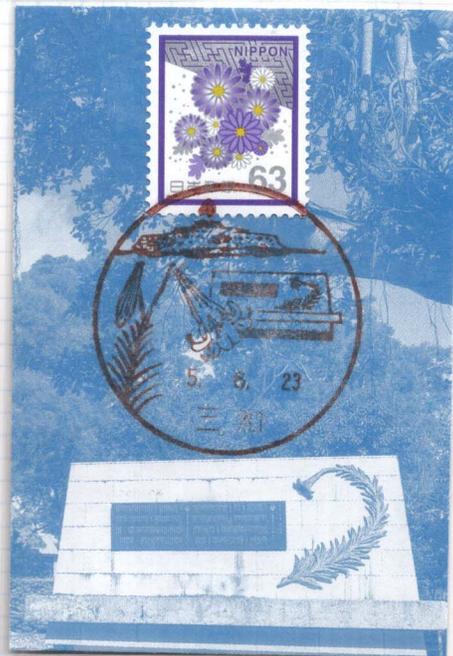


⑦2 小浜島郵便局



さとうきび畑

E
P



↑ 三和局 魂魄の塔・ひめゆりの塔
魂魄の塔は初めて作られた戦没者慰霊碑
住民たちが森や畑にちらばる遺骨を集めた

AGRICULTURAL CENSUS



農業センサス記念切手

1 JUNE 1964

First Day of Issue

THE CENSUS TAKEN BETWEEN 1-20 APRIL 1964 IS THE SECOND ONE FOR THE RYUKYU ISLANDS, THE FIRST HAVING BEEN TAKEN IN 1951 BY THE AMERICAN MILITARY GOVERNMENT. HENCEFORTH A CENSUS WILL BE TAKEN EVERY 10 YEARS.



↑ 『さとうきび畑』
1964年寺島尚彦摩文仁訪問
畑に大勢の遺骨が埋まったままと聞かされ愕然 この歌を作る



摩文仁の丘

農業センサス記念 1964年 みほん切手とFDC 当時の農家総数6.9万戸 就業者15万人(37%)
主要作物(万t)：甘蔗(243) パイン(4.8) 水稲(0.9) 甘藷(6.1)

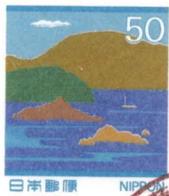


エルサルバドル

芋大主(ウムウフシュ)…琉球へ甘藷を伝えた野国総管
 15世紀末：コロンブス 新大陸から甘藷・梅毒・煙草を持ち帰る
 16世紀：欧州 ⇒ 東南アジア ⇒ 中国へ [甘藷/蕃藷]
 1605年：野国総管が持ち帰る [唐芋] → 食糧供給が安定 → 人口増加
 1609年：薩摩の琉球侵攻 やがて薩摩にも甘藷が伝わる [琉球芋]
 1734年：青木昆陽が救荒作物として日本各地へ広める [薩摩芋]
 * 実際の伝播経路は単純ではなく多数の人々が関わっていた



ベトナム



日本郵便

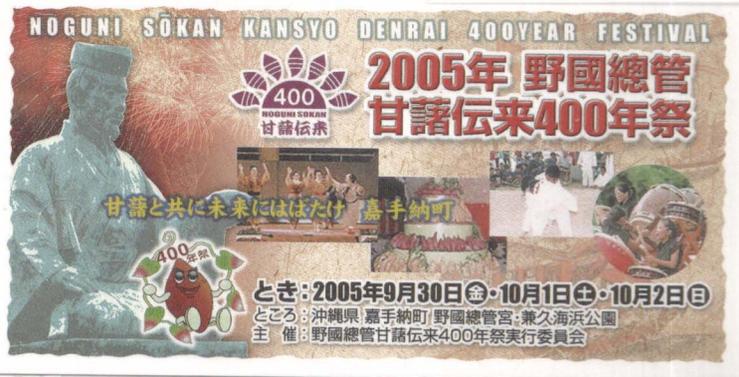


↑ 1955年 甘藷伝来350年 琉球郵政の記念切手
 嘉手納町は故郷の偉人として「野国総管宮」を建立

← 2005年 甘藷伝来400年祭 エコ-葉書
 ← 嘉手納局の風景印「甘藷発祥の地碑」
 この碑と野国総管の墓は米軍施設内にある

↓ 御菓子御殿の「元祖 紅いもタルト」
 1986年 読谷村の村起こし事業に参加・開発
 ちんすこうと並ぶ沖縄土産の定番に発展

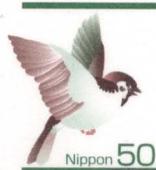
売価45円
 再生紙はがき





郵便はがき

5540012



ゲットウ(サンニン)…包むだけじゃない

熱帯～亜熱帯に広く自生 沖縄でも各地に勝手に育つ 生薬・食品包装・結束紐など古くから様々な利用される 香油成分が注目され近年は美容・健康分野の開発も盛ん 平和を願う歌『月桃』は慰霊の日の頃によく歌われる

- ←ムーチー(餅/鬼餅/カ餅): 月桃の葉で包んで蒸した餅
- * 切手: 素朴な白と紅芋 他に高黍(黄)、黒糖なども
- * 風景印: 鬼は笑っているが 元の昔話はえげつない

↓複十字シール: ムーチーの日 旧暦12月8日 健康・長寿・厄払を願ってムーチーを食べる風習

琉球結核予防シール

むーちー(カ餅)

琉球から結核を無くするためあなたの真心で結核予防シールに御協力願います Ryukyu Christmas Seal issued by the Ryukyu Anti T.B. Association, a Juridical Foundation "Mūchi" The Power Rice-cake Buy Christmas Seal to stamp out Tuberculosis.



琉球 通常切手17¢ サンニン

首里名物のまんじゅう

創業百年

のぎぼまんじゅう



↑昔この店に看板娘のネコがいた 模様の一部がのの形で話題に



↑儀保まんじゅう 月桃の葉で包んだ饅頭



MARTHA FREIBERGER
33 BRAUNSCHEIDT
BÜRGERSTRASSE
WEST GER



熱帯～亜熱帯に自生 ガーナとStビンセントの切手



カツオ漁←水中眼鏡→オリンピック

1884年：糸満の玉城保太郎が水中眼鏡(ミーカガン:目かみ)を**発明**
 オーダーメイドでピッタリサイズ 水中での視界改善とともに
 海水による眼障害を**予防**⇒漁師寿命の延命、新たな漁法につながる
 1890年 糸満で**アギヤー**(追込漁)が誕生、宮古諸島などに普及
 1960年頃：**ジャック・マイヨール**(素潜ダイバー)がミーカガンを知る
 1968年：**メキシコ五輪**以降**競泳用ゴーグル**が普及 **マイヨールの功績?**



水泳競技
両眼型ゴーグル

鰹漁：尖閣諸島⇒宮古諸島⇒南洋移民

1896年：福岡出身の漁師が**尖閣諸島**で**鰹漁** 沖縄初のカツオ漁！
 その後**宮古**で鰹漁が普及 さらに愛媛から**鰹節女工**が来島
 大正期：**焼津**の鰹漁・鰹節産業が**ボルネオ・パラオ**など南洋へ進出
 昭和期：宮古から漁師や女工が**南洋移民** アギヤー漁で鰹の餌を獲る
 1942年：沖縄(池間・伊良部・糸満など)から南洋へ水産移民六千人
 1944年：戦況悪化 **サイパン島**でも多くの移民が死亡 **沖縄出身者9割**
 戦後：宮古の鰹漁は続き約100隻の鰹船が操業 焼津に勝る年も
 ニューギニアやソロモン諸島へも出漁
 1982年：**パヤオ漁**の開発 流木に集まった小魚を狙う大魚を獲る
 現在の伊良部島の**鰹・鯖**漁を支える 沖縄の**マグロ**は生！

↑糸満新島局の風景印
ミーカガンとタマン(高級魚)
海人工房資料館に詳細な展示

郵便は



←焼津のカツオ

昭和初期に**鋼鉄漁船**導入
 南洋で漁⇒焼津で**鰹節**に加工
 戦時 漁船・漁師徴用 工場休業
 ⇒「**皇道産業焼津踐団**」発足
 集団で焼津から南洋へ移住
 宮古の漁民も**ボルネオ工場**へ

サイパン島の戦い: 1944年

日本兵4万が玉砕
 民間人も1万人死亡



14 APRIL 1972
First Day of Issue



↑ソロモン諸島: Philla Nippon' 91
キハダマグロ・漁船・一本釣・荒節製造

↑海洋シリーズ: 琉球最後のシリーズ: 尖閣諸島を意識した画
当初は尖閣切手を計画⇒外交問題化を懸念して転進



Approved...サインはA : 米兵を守るための衛生行政

- 1945年 : 米軍が本島上陸、海軍政府が発足(ニミッツ布告)
 - 1946年 : 陸軍政府に移行 住民の衛生調査(性病・結核など)
 - 1950年 : 琉球列島米国民政府(USCAR) (実態は米軍統治)
 - 1952年 : 琉球政府(住民側)の創立 実態は民政府の下部組織
 - 1953年~ : 民政府は基準を満たす飲食店や売春宿に許可証
目的は米兵らの安全⇒米兵はAサイン店以外は立入禁止
結果的に住民の公衆衛生にも貢献
 - 1972年 : 復帰1ヶ月前にAサイン制度を廃止
- Aサインに起源をもつ店は多く 記念にパネルを掲げる例も



複十字+シールと琉球結核予防会

1952年: 軍医ベスケラー博士が結核対策を提案
米国からシール60万枚を取寄せ琉球加刷で販売
同年12月 琉球結核科学研究所が発足
シールの収益と民政府の援助による



観光絵葉書:Aサインバーのネオンサインが連なるコザの繁華街: 復帰前後

ベトナム戦争中(1964~1973)の基地の町は若い米兵が溢れ、酒・女・ロックに溺れた
戦場に戻れば死ぬかも...有り金を使い切る 店には「ドルが雨のように降ってきた」という
米兵動員数250万のうち6万が死亡 25万が負傷 ベトナム住民の死者は300万人

↓ 米国: 空軍50周年記念

B-52の上に皮肉な標語印

「PRAY FOR PEACE」

北ベトナム:B-52撃墜記念→



ステーキハウス88入口の壁のサイン



米軍統治下で沖縄の食が変換していく

ステーキ: 1950年越来村(沖縄市)に米兵向け専門食堂が開店
復帰後 関税特例で割安なステーキが観光客に人気 店舗増加
ポーク: 米軍兵糧⇒住民収容所で配給⇒解放後も私下や横流で流通
A&W: 1963年進出 米兵のマイカーブームでドライブインが繁盛
ブルーシール: 1948年 基地内に進出⇒1963年 牧港へ移転 ドライブイン
タコライス: 1984年 金武町の米兵向け飲食店がタコスを開発
*タコス: 基地内レストランのメニュー チャーリー多幸寿は1970年創業





弁財天堂 文化財保護強調週間
1968年 文化貢献の一環で具志堅が
支援して復元 琉球政府に寄贈

オジー自慢のオリオンビール、ワッター(私達)自慢のオリオンビール
商工会議所総会で民政官が「ビールとセメントが有望」と述べ起業を促す
1957年：具志堅宋精(醸造業)が経済復興に必要と考え沖縄ビール(株)を創業
1959年：初製品はドイツ風で苦く不評 アメリカ風のライトな製品を開発
1960年：「オリオン ドラフト」発売→定番商品に 現在も改良を重ねる
内地大手のビールは「輸入」だが同社は無関税→価格差で売上を伸ばす
1972年：沖縄復帰 当時の県内シェアは8割以上

オリオンビール提灯：繁華街のあちこちに！
与儀局の風景印は「与儀トクリキワタ祭」
与儀小学校の生徒が描いたポスターが原案



郵便はが



地元イメージを強調

現在 オリオンビールの全国シェアは1%だが県内シェアは5割を維持
復帰後 大手ビールに対抗するため県内の各種イベントに協賛・出店
特に大きな協賛イベントでは記念缶も発売！ 空缶コレクターも多い



① 名護大中郵便局



沖縄の桜は見るだけ 浜辺や基地は宴会場
浜辺：泳ぐ場所ではなくBBQパーティの場
墓前：清明節(シーミー)で親族が集まり
泡盛やビールを飲みながら料理を味わう



「いちばん桜」
2002年から毎年発売

名護郵便局留置
伊是名朝輝様

名護大中局の風景印→
名護城公園の緋寒桜
麓にあるビール工場の
見学ツアーが人気



“そば”の表示はダメ…復帰後の様々な問題

- 1972年5月15日：本土復帰 通貨切替や基地従業員大量解雇など多数の問題
- 1975年：経済振興の起爆剤だったはずの海洋博で甚大な後遺症 沖縄経済の自爆剤
- 1976年：公取委 沖縄そばは蕎麦粉を含まないから“そば”と表示するな！
- 1977年：沖縄生麺協同組合が交渉を重ね、県内に限って「沖縄そば」の名称認可
- 1978年10月17日：全国「本場沖縄そば」の名称認可⇒10月17日は「沖縄そばの日」
- 1978年7月30日(ナナサンマル)：交通を「人は右 車は左」へ変更 トラブルは僅か

郵便はがき



あけぐち 24.3.2/E 賞味期限 (開封前)



↑牛乳パックの容量表記 946ml = 1/4ガロン 米軍支配の名残りの1つ

郵便はがき



↑ 7.30交通方法変更実施 小型印 入念な準備の上で一斉実施 県庁裏や石垣島に730記念碑がある

本場沖縄そば: ラーメンと同源→ 明治35年に那覇の食堂の清国人コックが 初めて支那そば(唐人そば)を提供 支那そば屋が増え工夫が重ねられる 内地では中華そば(ラーメン)へと発展 * 沖縄そばにはコーレーグースが合う

うめーし(御箸)王朝期に中国から伝来→→ 赤色は太陽 黄色は月を表すという 黄は高貴な色で上流層がこれを使った 今は庶民が食堂などで普通に使っている

ていしきん 売価35円





「子供の頃ビール飲んだ？」 「わんは泡盛さあ」

15世紀：タイから伝来？ 日本最古の蒸留酒とされる王府は品質保持のため首里城下3区域でのみ醸造許可

17世紀：薩摩藩から将軍に献上もされた

甘藷や泡盛醸造技術を導入し 薩摩で焼酎製造が広まる

1972年：復帰 泡盛は焼酎乙類に「泡盛」の酒類表示不可

1983年：「泡盛」表示許可 県産品の「本場泡盛」も許可

2004年：県産泡盛に「琉球泡盛」と表示

黒麹菌：旧学名は *Aspergillus awamori* (泡盛麹菌)

白麹菌は *Aspergillus luchuensis* (琉球麹菌)



かもすぞし



泡盛の携帯用容器 ↑ヤーシ小 ↑だちびん
清明節(墓参)や漁労・農耕に携行 馬上でも(飲酒運転!)

←沖縄版エコー葉書：この他にも酒造会社提供が多種
サミット記念切手も宣伝に利用(瓶に掛けたタケ)



本場泡盛
まさとろ



合資会社 比嘉酒造
郵便振替口座、鹿児島3-16773
〒903 沖縄県那覇市首里石嶺町4丁目54番地 電話(0988)86 2220

古都・首里に生まれ、今に受継ぐ「銘酒泡盛瑞泉」



旨い酒には、浪漫がある。



合資会社 仲里酒造
〒901-31 沖縄県島尻郡仲里村字宇江城2157 TEL:098985-2276代



№ 003217

金武・鍾乳洞

入場券 (当日一回限り)

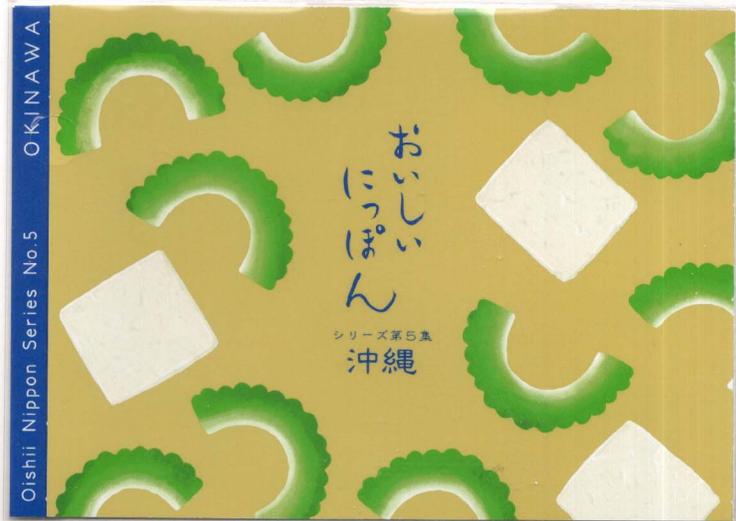
開園時間 AM9:00~PM5:00
〒904-1201 沖縄県金武町字金武222 TEL・FAX 098(968)8581

龍神信仰の発祥地として有名な鍾乳洞で、中には量が140量敷かれる大広間があり、年間平均気温である。1988年には、その環境を活用して、泡盛の古酒を造る貯蔵庫が完成し、全国から注目を浴びる。名付けられた酒蔵には、個人のボトルを預かる長楽会のシステムなどがあり、日本醸造協会でもその古評価され、平成4年石川弥八郎賞を、受賞しました。

古酒(←す) 3年以上寝かせた泡盛
自宅でも貯蔵できるが洞窟などで預かる醸造所もある



Oishii Nippon Series No.5 OKINAWA



↑ おいしいいっぺーまん第5集 84円
表紙はゴーヤーと島豆腐

↓ 安室奈美恵 小型印
2018年9月16日に引退

ゴーヤー … 島野菜28種の代表 生産量は日本一

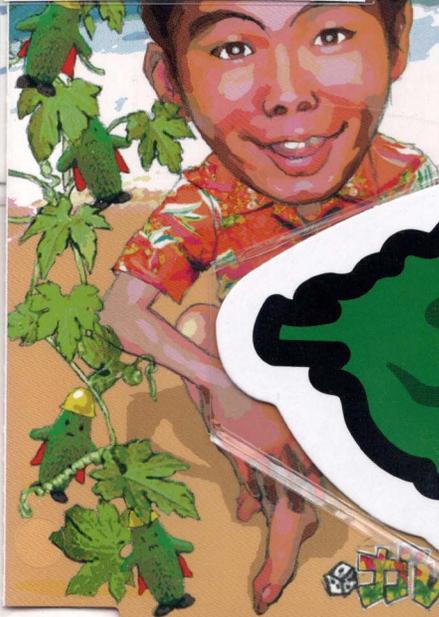
- 14世紀末：インド原産のゴーヤーが中国へ 15世紀に琉球へ
- 1993年：ウリミバエ根絶→内地出荷可能 収穫10年で3倍↑
- 199x年：安室奈美恵 「好物は苦瓜の炒め物」と発言
- 1997年：旬にあたる5月8日を「ゴーヤーの日」に制定
- 2001年：朝ドラ『ちゅらさん』効果で全国にゴーヤーが普及
ドラマに登場したマスコット「ゴーヤーマン」も大人気
- 2005年：ふるさと切手「ゴーヤー」発行
：伝統的農産物(島野菜)振興戦略策定調査事業
- 2015年：JAおきなわ 4月8日を「島野菜の日」に制定



ゴーヤーチャンプルー
ゴーヤー・島豆腐など



沖縄てんぷら
ゴーヤー・アサなど



↑ CD天下無敵のゴーヤーマン
朝ドラ『ちゅらさん』の挿入歌

↑ ご当地フォルムカード ゴーヤ 沖縄版2010年

↑ 暑中見舞葉書 ニガウリ 琉球 1964年

